

Hokkaido **eco action!**  
北海道エコ・アクション

今できること、「考える」から「行動する」へ!



菅井貴子(すがい たかこ)フリーキャスター・気象予報士。全国各放送局で、天気予報や環境番組のキャスターを務めています。

日本列島 いきものたちの物語



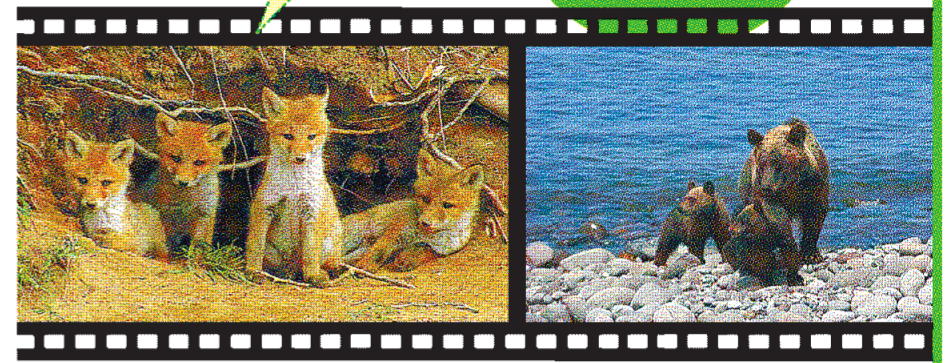
1時間目  
日本列島 いきものたちの物語 親子試写会!

2月4日(土) 全国東宝系ロードショー

2時間目  
スペシャルトーク 「いきものたちに学ぼう!」

1月21日、札幌市内で映画『日本列島いきものたちの物語』の親子試写会「いきものたちに学ぼう!」が開催されました。抽選で招待された小学生の親子180組は映画鑑賞やスペシャルトーク、子ども記者による監督インタビューなどを満喫。私たちと同じ日本に生きる動物たちの姿に、参加した皆さんは何を感じ、どんなことを考えたのでしょうか?

北海道エコ・アクション特別企画 親子試写会  
「いきものたちに学ぼう!」が  
開催されました。



©2012 映画「日本列島」製作委員会

動物たちの家族愛に心奪われる95分  
日本列島に暮らす多種多様な生き物たちのドラマチックな家族の物語を描いた映画『日本列島 いきものたちの物語』。25人の動物カメラマンが全国30カ所以上で2年半にわたり撮影した、本格的なドキュメンタリーです。ニホンザルやウリボウなどおなじみの生き物たちの中にも、ひとときや多く画面を彩っているのが北海道の生き物たち。知床の森の王となるべく成長していくヒグマの兄弟、愛あふれる子育ての末に別れていくキタキツネ親子、襟裳の海で生まれたアザラシの赤ちゃんとお母さんの物語——美しくも厳しい自然の中でたくましく生きる生き物たちの真実は、大きな感動と温かな命のメッセージを伝えてくれます。上映中にも笑いが起こる場面あり、思わず涙ぐむ場面あり、命の輝きに魅了された95分となりました。



◀いきいきと動く動物たちの迫力ある映像に、真剣に見入る参加者たち

出田 恵三(いずた けいぞう)監督  
『日本列島 いきものたちの物語』監督。NHKの自然科学番組の製作に長年携わった経験を生かし、本作品で初の映画進出を果たしました。

生き物とお天気の深い関係  
上映後は、本作品を製作した出田恵三監督とフリーキャスターで気象予報士の菅井貴子さんによるスペシャルトークショー。「日本は南北に長く、さまざまな気象を有する自然豊かな国。動物にまつわるお天気のことがもたたくさんあります」と菅井さん。出田監督も「動物の撮影はお天気次第なので大変でした」と撮影当時を振り返りつつ、環境や気象の変化とともに日本の動物の生息域も変化してきている。同じ



3時間目  
子ども記者による公開取材!



子ども記者が出田監督に突撃インタビュー!  
▲札幌市東区 中村 寛さん(小学6年生)  
▲札幌市東区 高野 彩花さん(小学5年生)  
▲札幌市東区 明石 麗華さん(小学6年生)  
▲札幌市西区 深島 亮太くん(小学5年生)

日本に暮らす仲間として、動物の生きる姿を通して人間としての生き方や環境について考えるきっかけにしてもらえれば」と語りました。

映画を見た参加者の感想!!

札幌市西区・北田 智嗣くん(小学4年生)  
動物の子どもがお母さんに厳しく叱られているのを見て、人間と同じだなと思いました。ほくも叱られることがあるから、気持ちが分かるような気がしました。  
由香里さん  
同じ日本で生きる動物の姿をとてもとおく思いました。子どもを抱っこしたり、時に突き放したり、厳しくも優しい親の気持ちは人間も動物も同じなんです。

札幌市西区・青木 遥さん(小学5年生)  
独りになってもがんばって生きるザルヤ、お母さんの食事を邪魔して叱られるイノシシの子どもがかわいかった。すぐ近くで撮っているのがすごかったです。  
芳江さん  
キタキツネの子別れの場面に感動しました。親の愛情ゆえに子どもに厳しく当たるのは動物も人間も同じ。叱るのは親の愛なんだ、と娘にも感じ取ってほしいです(笑)。

札幌市西区・寺田 結香さん(小学3年生)  
キタキツネの子どもがお母さんと別れるのが悲しかったけど、独りで生きていくのはすごいと思った。監督が話してくれたヒグマから逃げることも面白かったです。  
喜之さん  
命をつなぐことの厳しさは人間も同じだけど、動物のほうが大変だとあらためて思いました。映画ではお母さんの子育てが中心でしたが、人間のお父さんも頑張ってますよ!

▶詳細はホームページへ <http://eco.hokkaido-np.co.jp> 北海道エコ・アクション 検索 企画制作/北海道新聞社広告局

100人の演劇人が活躍する街をめざして  
**札幌昇演劇 シーズン**  
SAPPORO ENGEKI SEASON\*12/W  
2012-冬  
札幌で生まれた名作が  
2つの劇場で甦る。

劇団イナダ組「このくらのLangit」  
生活支援型文化施設 コンカリーニョ  
札幌市西区八軒1条西1丁目 サタウープレイス1F  
TEL.011-615-4859

劇団TPS「亀、もしくは…」  
シアターZOO  
札幌市中央区南11条西1丁目ファミール中島公園B1F  
TEL.011-520-0710

2012.2/4(土)~11(土) 2/18(土)~25(土)  
シアターZOO  
劇団TPS シアタープロジェクトさっぽろ  
「亀、もしくは…」ハンガリー公演から7年  
原作:カリンティ・フリジシュ 脚色・演出:渡瀬歩  
あの鳥たちが帰って来る!

イナダ組、TPSがロングラン公演中!  
チケット好評発売中!

PRICE 料金		
前売当日共通全席自由・税込 (未就学児入場不可)	一般	3,000円
	学生	1,500円
	★セット券(各作1回)	5,000円
	★回数券(10回観劇・作品自由)	24,000円

★印は、ご購入者以外の方(複数人)でもご利用いただけます(NPO法人コンカリーニョと北海道演劇団のみ取り扱い)

TICKET チケット  
ローソンチケット 0570-084-001  
(劇団イナダ組 Lコード:18111) (劇団TPS Lコード:18112)  
大丸プレイガイド 011-221-3900  
NPO法人コンカリーニョ 011-615-4859  
北海道演劇財団 011-520-0710  
詳しい情報はコチラ

札幌演劇シーズン  
検索 <http://s-e-season.com/>

2012.1/28(土)~2/4(土) 2/11(土)~18(土)  
生活支援型文化施設 コンカリーニョ  
劇団イナダ組  
「このくらのLangit」  
作・演出 イナダ

この世界に「楽園」なんてあるんだぞ  
10周年記念として上乗された大作を再演

北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY  
トークライブ  
「働く女性のONとOFF」  
~プロフェッショナルが語る「働き方」と「生き方」~  
仕事の喜びとやりがい、日常生活、休日の過ごし方など、札幌の輝く女性2人がおなじみののりさんと、とことん語り合います。いまバリバリ働いている方も、就職活動中の方も、あなたらしい「働き方」「生き方」を見つけるためのヒントがあるかも?

日時 2.23 [THU] 18:00▶20:00  
(月~金 9時00分~17時00分)

会場 オーストラリア シスタービート デュオ  
札幌市中央区北3条西4丁目日本生命 札幌ビル1F  
札幌駅前地下歩行空間直結 JR札幌駅より徒歩4分  
地下鉄南札幌駅より徒歩1分

出演者ご紹介  
佐藤のりゆき(さとうのりゆき)  
北海道大学 創成研究機構 専任教授/キャスター  
巽 剣萍(ぐん ちんぴん)  
北海道大学 創成研究機構 特定研究部門/大学院先端 代表取締役社長  
生命科学研究院 教授  
平野たまみ(ひらの たまみ)  
株式会社あるた出版 代表取締役社長  
Otone編集長

参加費用 軽食(+フリードリンク)付き 2,000円/1名

お問い合わせ 北海道大学 創成研究機構 研究支援室 TEL:011-706-9274 (月~金 9時00分~17時00分)

イベントURL <http://www.cris.hokudai.ac.jp/cris/news/event/396.html>

定員 45名

要 事前申込(締切 2月17日)  
E-mail: rso@cris.hokudai.ac.jpまたはFAX:011-706-9275宛に、①氏名、②年齢、③性別、④職業、⑤電話番号、⑥連絡先(E-mailまたはFAX)を送入してください。  
※①~④は希望者全員分を記入下さい。 ※応募多数の場合は抽選となります。  
※お預かりした個人情報は、本イベントの目的以外には利用いたしません。

後援/北海道新聞社 ■協賛/北海道生活、Savon de Siesta、GEL-Design、ほくてんアソシエ、北海道味の素